【PRB-MBB101E76-M 取扱説明書】

○ **本製品は下記ボードと組み合せてお使いください。**

- MN101E76 **として使用する場合**
  - **コネクタボード** PRB-CN5-101(2) (PX-ICE101C/E **と接続時のみ使用**)
  - MBB **ボード** PRB-MBB101E76-M
  - **アダプタボード** PRB-ADP128-0102-M
  - **ダミーボード** PRB-DMY101E76-M
- MN101E56 **として使用する場合**
  - **コネクタボード** PRB-CN5-101(2) (PX-ICE101C/E **と接続時のみ使用**)
  - MBB **ボード** PRB-MBB101E76-M
  - **アダプタボード** PRB-ADP100-0104-M
  - **ダミーボード** PRB-DMY101E76-M
- MN101E50 **として使用する場合**
  - **コネクタボード** PRB-CN5-101(2) (PX-ICE101C/E **と接続時のみ使用**)
  - MBB **ボード** PRB-MBB101E76-M
  - **アダプタボード** PRB-ADP064-0104-M
  - **ダミーボード** PRB-DMY101E76-M

※ICE **単体動作時はダミーボードを、ターゲット接続時はアダプタボードを接続します。**

○ **本製品にはオプションスイッチが実装されています。**

表 1 オプションスイッチ設定

OP **番号**	MN101E76 / E56	MN101E50
OP0	ON	OFF
OP1	ON	ON
OP2	OFF	
OP3	WDT2 **動作モード選択レジスタ**(WD2MDSEL)**書換え設定** ON = **不可**、OFF = **許可**	
OP4	**未 使 用**	
OP5	ROM **ライトブレーク機能** ON = **無効**、OFF = **有効**	

※ ROM **ライトブレーク機能：**

内蔵 ROM **領域へのライトアクセスを検知し、ブレークを発生させる機能です。オプションスイッチ** OP5 **を** ON **にすることにより、**ROM **ライトブレーク機能を無効にできます。**ICE **を用いて** FLASH **書換えプログラムの開発を行う際など、内蔵** ROM **領域へのライトアクセスでブレークを発生させたくない場合に使用します。**

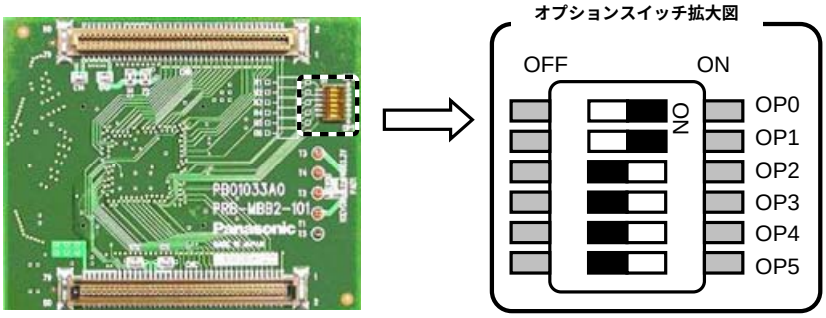


図 1　オプションスイッチ

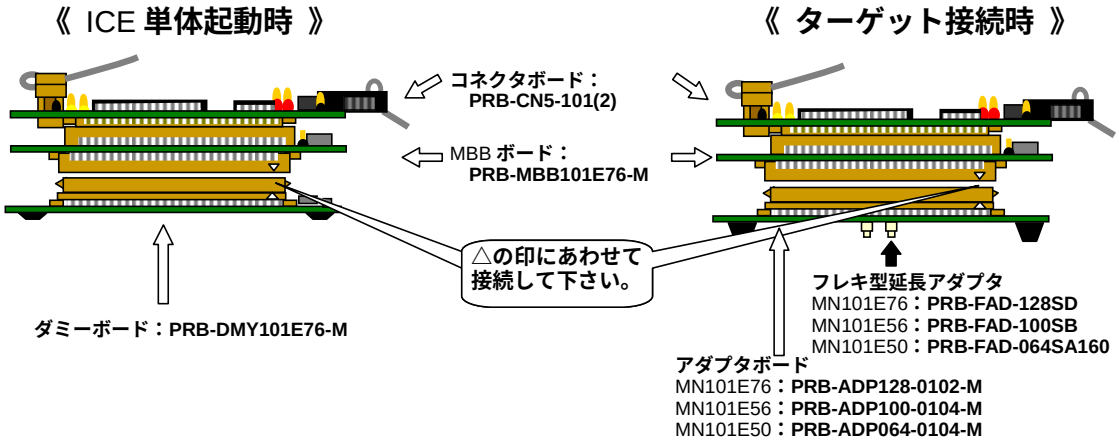
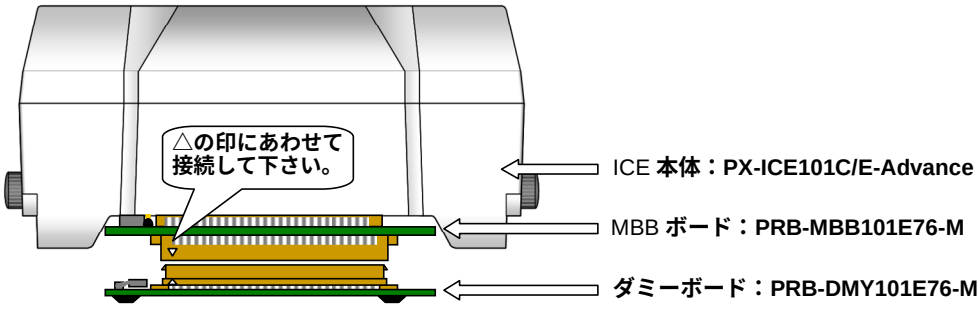


図 2　PX-ICE101C/E 使用時の構成

《 ICE 単体起動時 》



《 ターゲット接続時 》

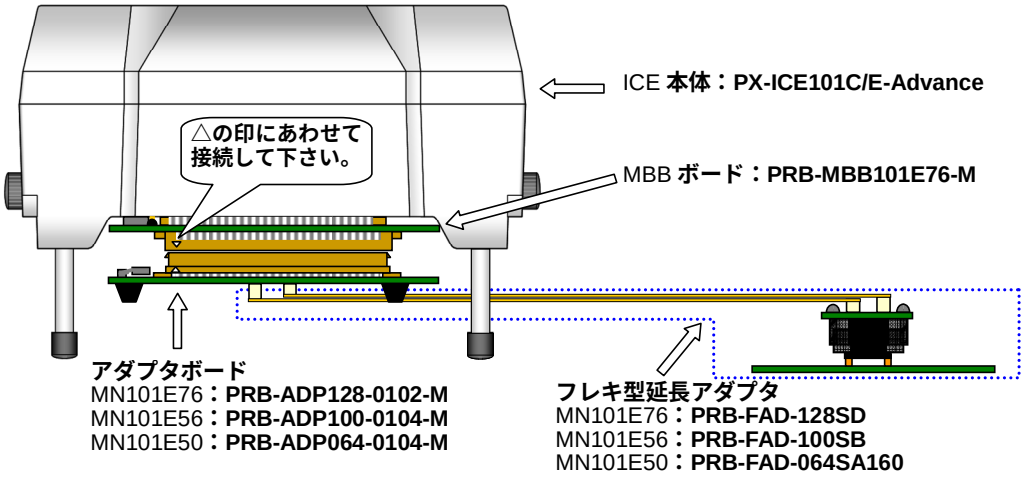
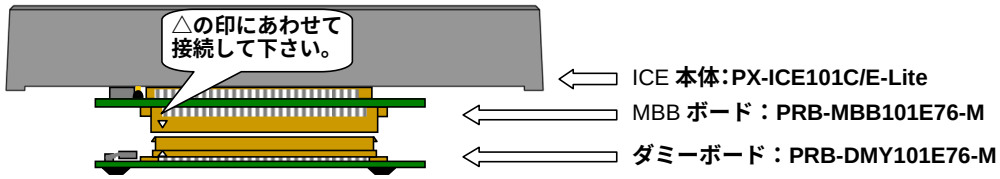


図 3　PX-ICE101C/E-Advance 使用時の構成

《 ICE 単体起動時 》



《 ターゲット接続時 》

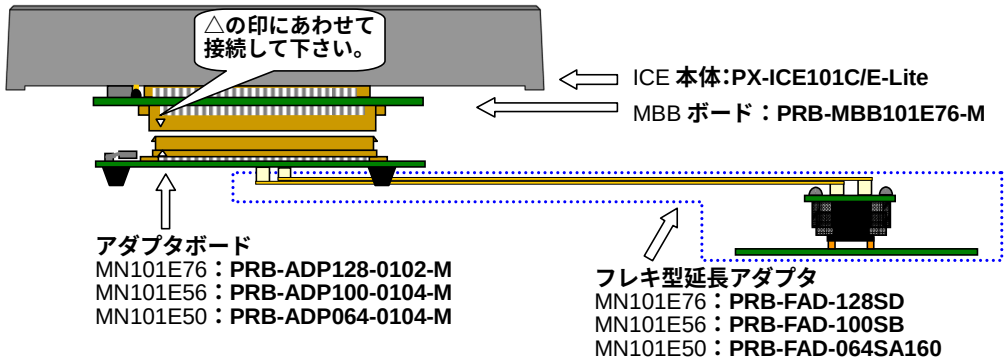


図 4　PX-ICE101C/E-Lite 使用時の構成

【エミュレータ制限事項】

○ ユーザプログラムで内蔵 ROM 領域 (0x4000～) に対してデータ読み出しを行った際に、読み出したデータを要因とするデバッグ機能が正常に動作しません。

➢ **PX-ICE101C/E-Advance の場合**

[正常に動作しない機能]

※イベントの条件に、リードアクセスデータを指定した場合に限る。

- ブレーク機能
  - データアクセスブレーク
  - シーケンシャルブレーク
  - AND ブレーク
  - 同時 AND ブレーク
- トレース機能
  - ディレイドトリガモード
  - マルチモード
  - 開始 / 終了イベント指定
  - 格納条件イベント指定
- タイマ測定機能
  - イベント間測定モード
- トリガ出力機能
  - イベントパルス出力モード
  - イベント反転出力モード
  - インターバル出力モード

[データ表示/データ出力が正しくない機能]

- トレース機能
- RAM モニタ / ウォッチ機能
- RAM サンプリング機能
- トリガ出力機能
  - RAM データ出力モード

➢ **PX-ICE101C/E-Lite の場合**

[正常に動作しない機能]

※イベントの条件に、リードアクセスデータを指定した場合に限る。

- ブレーク機能
  - データアクセスブレーク
  - シーケンシャルブレーク
- トレース機能
  - ディレイドトリガモード
- タイマ測定機能
  - イベント間測定モード
- トリガ出力機能

[データ表示/データ出力が正しくない機能]

- トレース機能

➢ **PX-ICE101C/E の場合**

[正常に動作しない機能]

※イベントの条件に、リードアクセスデータを指定した場合に限る。

- ブレーク機能
  - データアクセスブレーク
  - シーケンシャルブレーク
  - AND ブレーク
- トレース機能
  - ディレイドトリガモード
  - マルチモード
  - 格納条件イベント指定
- タイマ測定機能
  - イベント間測定モード
- トリガ出力機能
  - イベントパルス出力モード
  - イベント反転出力モード

[データ表示/データ出力が正しくない機能]

- トレース機能
- RAM モニタ / ウォッチ機能
- トリガ出力機能
  - RAM データ出力モード

なお、上記以外の機能
ユーザプログラムの実行(エミュレーション機能)、
メモリ表示 / 変更機能やコード表示 / 変更機能、
内蔵 RAM 空間に対するアクセスを要因とした場合の各種機能等々は正常に動作します。